

待望の

村研年報第一輯発刊近しノ

すでに通信第三号にて具体的な構想が報告されて皆さん御承知の、村研年報第一輯「村落研究の成果と課題」は、きたる第二回大会を期していよいよ刊行されることになりました。執筆担当者はそれぞれ特色ある力作を寄せて下さいましたので、およそ村落研究書として欠くことのできぬきわめて便利は必携であるばかりでなく、村落研究史上おそろく画期的な記念巻をうらた

てることになったと思ひます。これには書肆時潮社のなみなみならぬ御尽力も特記すべきことでした。つきましては御知合の村落研究者の方々に出来るだけ広く吹聴して下さい。大会のさしには幾部かまとめて御申込んだければ大変有難いと思ひます。内容は予定より少々異動がありますので、次に目次を掲げておきます。

村落研究の成果と課題 (約二七〇頁) 千冊三〇〇円

序

一、理論と方法

1. 社会学

喜多野清一

- 2 経済学 大内 力
- 3 民俗学 有澤嘉兵衛門
- 二、農山村
- 1 村落構造 福武 直
- 2 家族 小山 隆
- 3 経済 矢木 明夫
- 4 教育 大田 堯
- 5 宗 教 堀 一郎
- 6 人 口 中島龍太郎
- 7 政治と行政 内山 政照
- 8 法 律 渡辺 洋三
- 9 憲法と世論 甲田 和衛
- 10 歴史古代 中村 吉彦
- 11 歴史中世 永頼 義二
- 12 歴史近世 竹内 雅美

三、換 村

- 1 社会経済 竹内 雅美
- 2 民俗 桜田 勝徳
- 四、海外動向—戦後のアメリカ農村社会学
- 1 概 説 書 塚本 哲人
- 2 社 誌 森岡 清美

五、研究ノート

- 1 運賃の地の神 秋葉 隆
- 2 農村社会学への期待 小倉 武一
- 3 北海道により 鈴木栄太郎
- 4 農村における母子世帯 南 清男
- 5 北海道の村落 高倉新一郎
- 6 家についての覚え書 武田 良三
- 7 社会的成層化の背景 山本 登

後 記